



住宅防火のポイント!

当局管内で平成26年中に発生した火災種別のうち、「建物火災」が最も多く発生しています。そして、この内の約50%を占めているのが「住宅火災」です。

住宅火災を防ぐには、一人ひとりの心がけが必要です。

住宅防火を推進するため、次の対策を行いましょう!



◎住宅用火災警報器

住宅火災による死者の多くは「逃げ遅れ」によるものです。

中でも就寝中の火災による死者が多く発生しているため、寝室への設置が火災予防条例で義務付けられています。未設置のご家庭は速やかに設置してください。

また、すでに設置しているご家庭では、維持管理をしっかりと行ってください。

◎住宅用消火器

万が一、火災が発生した場合、消火器による初期消火が大変有効です。設置の義務はありませんが、いざというときのために、当消火器の設置をおすすめします。

◎防 炎 品

防災品とは、繊維などの性質を改良して、着火しにくく、また着火しても燃え広がりにくく加工した製品です。

使用の義務はありませんが、寝具やカーテン、車のボディカバーなどを防災品にすることで、火災の発生や拡大を防止することにもつながります。

電気器具による火災を 防止しましょう!



住宅火災のうち電気器具が原因による火災が多く発生しています。延長コードや電子レンジなど身近にある電気器具による火災は、不適切な環境で使用する事や使用者の誤使用により発生します。取扱説明書をよく読むとともに、次の点に注意し、火災を未然に防ぎましょう!

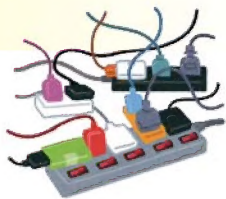
◆電子レンジ・IHコンロ

- ・決められた調理方法を守る



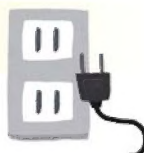
◆延長コード

- ・延長コードを損傷させない、束ねない、ねじれたまま使用しない
- ・許容量以上の電気器具をつなげない
- ・抜き差しは、差し込みプラグ本体を持つ
- ・未使用の差し込みプラグはコンセントから抜く



◆コンセント

- ・ほこりなどがたまらないように定期的に清掃する



発行所
堺市堺区大浜南町3丁2番5号
堺市高石市防災協会連合会
TEL.238-0119

編集
堺市消防局
予防部 予防査察課
<http://www.city.sakai.lg.jp/kurashi/bosai/shobo/>

平成27年 3 月中の 火災・救急概況

| | |
|--------|---------------------|
| 火災件数 | 20件 (58件) |
| 建物火災件数 | 18件 (41件) |
| 死者 | 6人 (7人) |
| 負傷者 | 6人 (11人) |
| 救急出場件数 | 4,350件 (13,275件) |

()内は累計

2015年度 全国統一防火標語



ポスターモデル 松岡 茉優